



自分が学んでいることは、どのような道につながるのか、どんな形になるのか。何を達成することができるのか。みなさんは意識したことがありますか? 「目標」を持つことは、普段の学習や生活にそれを行う「意味」を生じさせます。ただ言われたことをやるだけでなく、自ら向上心を持ち、反省を繰り返すことで、みなさんの時間の密度は何倍にもなります。

豊田東高校では、学習したことを「形」にする取組が行われています。その一番大きなものが、今から紹介する「総合発表会」です。上級生がそれぞれのプランで学んだことを集大成として発表するこの会は、下級生が新たな目標を抱くまたとない機会です。今号は総合発表会をはじめ、学んだことを「形」にしている授業も紹介します。

「夢風」は Web ページでも発信しています。

→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



● 総合発表会 2月10日(火)

豊田東高校でこの時期行われる「総合発表会」には二つの大きな意義があります。

まず一つ目は、「学びの共有」です。本校は様々な進路希望を抱く生徒が集まり、2年生になると11の科目選択プランに分かれてバラエティに富んだ専門科目を受講します。それゆえ、他のプランでどのような授業を受けているのか知らないことが多いのですが、総合発表会では、各プランで学んだことを3年生が中心となって発表するので、他のプランの様子を知ることができます(各プランの発表内容の詳細は Web ページで紹介しています)。劇にしたり、プレゼンテーションスライドなどを使ったりして、各プランが工夫を凝らし、見る人にとって学びになる発表が行われ、総合学科の特色を一度に見ることができ、自分たちの学校を深く知ることができます。SPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)や地域連携といった取組も紹介されるので、興味を抱き、新たに加わるきっかけにもなっています。

二つ目は「伝統の継承」です。3年生の発表には、過去2年間見てきたことを生かし、今度は自分たちでいいものを作り上げるんだという自負が感じられると同時に、主体的に取り組み、楽しんでいる様子が伝わってきます。3年学年発表の課題研究発表、模擬面接は内容の濃い、緊張感のあふれる発表で下級生に“見せつける”ようでした。このような3年生の発表を見て、1、2年生は自分が目指すプランのよい目標を得ることができます。来年、再来年、「次は自分が」という気持ちを抱いて頑張りたいと思います。また1、2年生がはつらつと行う学年発表は、3年生に新鮮な気持ちを思い起こさせ、自分たちが先輩から得た総合発表会の「心意気」が後輩たちにも受け継がれていることを実感できるのではないのでしょうか。

このように、発表する生徒だけでなく、発表を見ている生徒にとってもよい刺激となる最高の学びの場が総合発表会です。この場を特別なものとして3年間かけて作り上げていくリスペクトの思いが、この日の生徒みんなの傾聴姿勢に表れていました。



3年生発表、模擬面接



盛り上がるファッションショー

授業の風景 Class Activities

● 調理・栄養プランの卒業実習

調理・栄養プランでは、お弁当、フルコースの二つの実習に先生方への感謝の気持ちを託して、二年間の総まとめとしました。一つは「お弁当実習」で、もう一つは「フルコース実習」です。お弁当実習では、そのパッケージをビジネスプランの生徒が先生一人一人に合わせて作成します。お弁当の中身は本格的で、家族のために二つ購入される先生もいるほどです。フルコース実習は、実習日の4時間目が空いている先生しか参加できないプレミアムな企画で、筆者は今年初めて参加できる幸運に恵まれ、普段の授業では見られない「お料理を提供する側の気構え」を醸し出す生徒の姿を見ることができました。丁寧に準備された料理に舌鼓を打ち、同じテーブルを囲んだ先生方と女子会のような楽しいひと時を過ごしました。お弁当もフルコースも、そのメニュー一つ一つに作っている生徒たちの顔が浮かび、大切に味わいました。

メニューは、生徒たちが今まで調理実習で作った中から選ぶそうです。食は人に幸せをもたらす最たるものの一つです。料理の向こう側にある、食べる人の笑顔を願い、幸せをもたらすような料理人になってほしいと思います。調理・栄養プランのみなさん、ごちそうさまでした!



お弁当実習



フルコース実習の一場面

● 英語の授業におけるパフォーマンステスト

平成25年度より新学習指導要領が全面実施され、英語では、英語による授業展開とPT(パフォーマンステスト)の実施が求められるようになりました。本校では外国語プラン選択者対象の授業などではすでに実施していましたが、昨年度の1年生からプランに関わらず、全員を対象にPTを実施し、今年度は、コミュニケーション英語Ⅰの授業においてプレゼンテーション、英語表現Ⅰにおいては会話テストを中心に内容をさらに充実させています。PT実施の一番の目的は、学習した表現や文法を、実際に自分の言葉として使用できるようにすることです。3学期のPTは、各自が選んだ「日本の世界遺産のツアーガイドのプレゼン」と、生徒の要望であった自由な会話を多く取り入れた「趣味や余暇についての会話テスト」でした。

1学期には声や手が震えるほど緊張していた生徒も、トータル8、9回目を迎える3学期になると、今回はアイコンタクトに気を付けよう、前回はConversation Strategy(会話を続けるためのコツ)がうまくできなかったからがんばろうなど、各自が目標を持って臨んでおり、確かな成長が感じられます。普段の授業にも活気があふれ、PT前になると休み時間にペアで練習するなど、まさに切磋琢磨している姿があります。

PTでは、Fact(テーマに沿った調べ学習)とOpinion(自分の意見を表現すること)を基本のスタイルとしています。事前にスクリプト(原稿)作成、添削を行います。英語でのやりとりは易しい事ではありません。しかし、アンケートを見ると、約8割もの生徒がPTを楽しみ、これからもやりたいと答えています。練習した成果を実感できることもモチベーションの一つでしょう。でも、生徒たちを見てみるとそれだけではなく、英語でのやりとりを通じて相手とのコミュニケーションを楽しんでいると感じます。ペアワークの多い英語の授業が友達と話すきっかけになったという生徒も少なくありません。英語を学ぶ上で一番大切なことだと思います。これからも生徒が意欲的に取り組める授業、PTを実施していきたいと考えています。

